

一、傍線部を口語訳せよ。

1 門を開かれずとも、このきはまで立ち寄せ給へ。(平家物語)

〔

〕

二、傍線部の助動詞の意味を答えよ。

1 舎人(とねり)が、寝たる足を狐に食はる。(徒然草)

〔

〕

三、空欄に助動詞「る」を活用させて入れよ。

1 今(け)日(ふ)は都のみぞ思ひやら( )。(土佐日記)

〔

〕

四、空欄に助動詞「らる」を活用させて入れよ。

1 例の涙もとどめ( )ず。(源氏物語)

〔

〕

五、次の文より助動詞「る」を抜き出せ。

1 御心地はいかがおぼさる。(竹取物語)

〔

〕

六、傍線部の助動詞の意味を次のア～エから選べ。

〔ア・受身 イ・尊敬 ウ・可能 エ・自発

1 さらにこそ信ぜられね。(大鏡)

〔

〕

七、空欄に助動詞「す」を活用させて入れよ。

1 人に食は( )事なし。(徒然草)

〔

〕

八、次の文より助動詞「す」を抜き出せ。

1 さかづきこと人にとらすほどのけしき、いみじうにくしと見ゆ。(枕草子)

〔

〕

九、次の文より助動詞「さす」を抜き出せ。

1 いかにも宗高(むねたか)、あの扇のまん中射て、平家に見物せさせよかし。(平家物語)

〔

〕

十、次の文より助動詞「しむ」を抜き出せ。

1 一院第二の王子、不慮の難をのがれんがために、にはかに入寺せしめ給ふ。(平家物語)

〔

〕

1 一、  
お立ち寄り下さい

1 二、  
受身

1 三、  
るる

1 四、  
られ

1 五、  
るる

1 六、  
ウ

1 七、  
する

1 八、  
する

1 九、  
させよ

1 十、  
しめ